

(雪のシンデレラ、雪のジャンヌ・ダルク)

雪の女王と呼ばれた女性選手は多い、マリ
エル・ゴッシェル、ナンシー・グリーンもそう
呼ばれた時期がある。エリカ・ハス、フレニ・シュナイダー
しかしながら、アネマリー・プロールほど
女王と呼ばれたものが似合った選手はいない。
ザルツブルグ州の団舎クライナールから連
れて来られた少女は、ナショナルチームのトレ
ーニングに参加をゆるされ、次のシーズン19
70年にはW-Cupにエントリーされた。
少女は、その年、W-Cupの総合順位でオー

(フランス勢が1位から4位を占めた)

ストリア人のトップ7位を占め、フランスへの反抗の狼火を上げた。

続く1971年以降、引退するまでの5年間で、女王の座を誰にもゆづることはなかった。

1973年シーズン、滑降は8戦全勝で始まり、連勝は1974年シーズンにもつながり13連勝となった。

当時、ジャーナリスト達は、「何時アネマリーの連勝が停められるか」をあれこれ噂し、女子のレースを追いかけていた。

「私は、これまでとちがっていい金メダル
も奪取できるレースに復帰すると宣告して帰
って来た母親に「ほっ」モータ、フーエルは
その年のワールドカップで6度目の総合優勝
をかぎ「1979年」リ、続く1980年、レイクプラ
シットでのオリンピックで、金メダルを手に入
れている。 (約束の

No.